



# ていじせい かぜ 定時制の旋風

2026年1月号

発行者 教頭 松本康一

県立小野工業高等学校 定時制課程

## 「新しい風を力に変えて」

~2026年、丙午の幕開けに~

新年あけましておめでとうございます。清々しい空気の中、2026年（令和8年）という新しいページが開かれました。

今年の干支は、60年に一度巡ってくる「丙午（ひのえうま）」です。古来、十干の「丙」と十二支の「午」は、共に五行の「火」に属します。太陽が南中にあり、万物が最も旺盛に育つ状態を象徴することから、今年は「極めてエネルギーに満ちあふれ、変化が激しくなる年」だと言われています。

かつてはその勢いの強さを危惧する向きもありましたが、現代における「丙午」は、停滞を打破し、新しい価値を創造する「革新の年」と捉えるのが相応しいでしょう。

生徒の皆さんに意識してほしいのは、この強いエネルギーを「どこに向けるか」ということです。進路活動という大きな節目に挑む人、部活動で新チームの核となる人、あるいは新しい趣味や学間に没頭する人。自分の内側に宿る「火」を、単なる焦りや摩擦で終わらせるのではなく、自らを高めるための「情熱」という燃料に変えてください。

周囲への感謝と礼節を忘れず、この丙午の勢いに乗って、皆さんが自身の可能性を大きく広げる一年になることを切に願っています。

## 【小野陣屋まつり・工作教室】

11月19日（日）

ふるさと活性化活動の一環として、今年も小野商店街で工作教室を開催しました。本校からは有志の生徒たちが「先生役」として参加。子どもたちに木製パズルの製作を優しく教える姿が見られました。申し込みは途切れることなく、会場は大盛況。完成したパズルを手に笑顔を見せるお子さんと、それを見守る保護者の方々の「ありがとうございました」という感謝の言葉が印象的でした。



最後まで粘り強く取り組んでくれた生徒の皆さん、本当に疲れ様でした。皆さんの活躍が、地域に笑顔を広げてくれました。

## 【人権教育講演会～音楽で世界を繋ぐ～】

12月16日（火）

### 異文化交流の楽しさを肌で感じた一日

「自分らしさを表現して」そんな力強いメッセージが届く公演でした。ドイツや北欧を拠点に活動する牧村英里子さんが、日本で初めてとなる学校公演を本校で実施。ピアノ演奏だけでなく、白鳥をイメージしたパフォーマンスや、アニメを通じた交流のコツなど、多岐にわたるお話がありました。参加した生徒からは「ユーモアと力強さに圧倒された」との声が。世界と繋がることの面白さを再発見する貴重な時間となりました。



## 【薬物乱用防止教室】

12月17日（水）

暴力団追放兵庫県民センターの方から、薬物や「闇バイト」の危険性についてお話を聞きました。



1. 薬物と暴力団の恐ろしさ 大麻は脳を壊し、深刻な後遺症を招きます。また、暴力団に関わると携帯電話の契約すらできなくなり、「今の当たり前の生活」がすべて失われます。

2. 巧妙な「闇バイト」に注意 SNSの「高収入」「簡単」という言葉は犯罪への入り口です。一見、普通の募集に見えても、実態は強盗や詐欺です。怪しいと感じたら、絶対に手を出さないでください。

3. 迷わずすぐに相談を もし困ったことがあれば、一人で悩まずに先生や警察、専門の相談窓口を頼ってください。「助けて」と言う勇気が、みんなの人生を守ります。

「ダメ、絶対。」の気持ちを忘れず、自分を大切にしましょう。

（文責 教頭 松本 康一）